

11 「小枝くん」, イベントでの活躍状況について

大船渡営林署

○世田米森林官

土岐輝久

収穫係員

伊藤誠

業務課長

山崎雅雄

総務課長

藤原勝志

1 はじめに

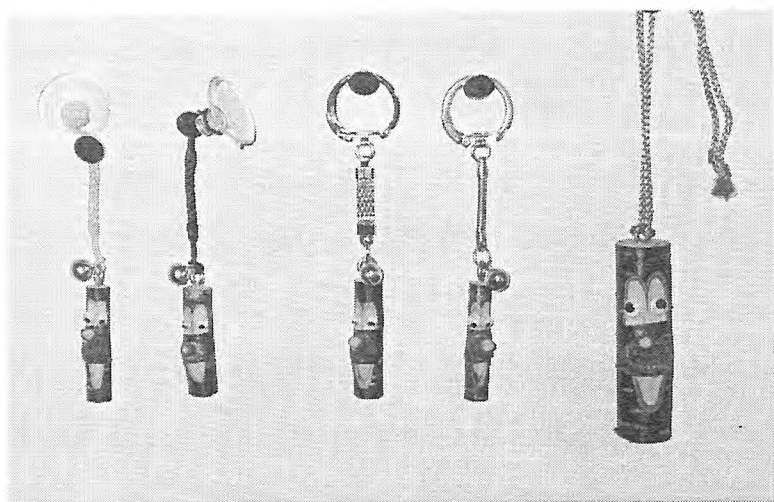
当署は岩手県南三陸の大船渡市にあり、大船渡市、陸前高田市、住田町、三陸町の気仙地方2市2町を管轄区域として管理経営に当たっている。この気仙地方は、人口8万漁業を中心とした産業の町であるとともに、岩手県ではスギ中心の先進的林業地域である。

このような地域の状況にあるが、さらなる森林・林業に対する地域の理解を深めるため、また森林の中で楽しみたいとする人々のために、平成6年度には地元の公共団体などととも、春の「植樹祭」から始まり、秋の「気仙スギ祭」あるいは「体験林業」など13回のイベントを開催したところである。

そして、その内5回のイベントで、ネイチャークラフト「小枝くん」を開催し、参加者から好評を博していることから、発表することとした。「小枝くん」(写-1)とはネイチャークラフトで制作される作品である。

ネイチャークラフトでは、「小枝くん」、「色鉛筆」、「小枝くん2号壁掛け」、「竹トンボ」、「水鉄砲」、「紙鉄砲」を作っている。この内、実際のイベントで作る品目は、イベントの趣旨、時間、対象者、場所等によって決めている。

今回は、大船渡営林署オリジナルで特に人気の高い「小枝くん」、「色鉛筆」、「小枝くん2号壁掛け」の制作方法や進め方等を紹介する。



写 - 1 「小枝くん」

2 制作方法

(1) 「小枝くん」

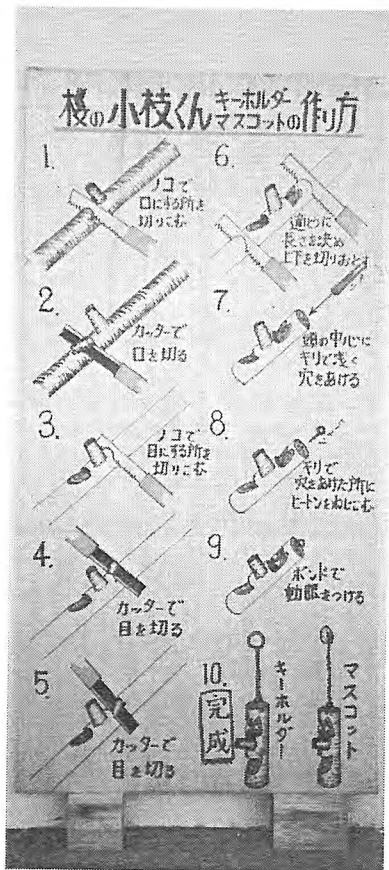
「小枝くん」は、3年前に当署職員が雑誌からヒントを得て作ったものである。当初は、一署一品で販売するために考えたもので、名前の「小枝くん」は樹木の小枝で作ることから「小枝くん」と名付けたものである。

作り方は、幹に付いている小さい枝を鼻にして、口と目になる部分をカッターナイフで切り、動眼を張り付けた後適当な長さに切り、キーホルダーにする場合には止め金と鎖を付けると完成である（写-2）。

材料としては、桜の木で径1~2cm、長さ30cm前後の木片に小さい枝がついもの動眼、ボンド、キーホルダーにする場合には鎖と止め金（ヒートン）などである。

材料となる桜の木は、除伐作業の時等に採取し、資源の有効活用になっている（写-3）。桜の木を使用する理由は、木肌がきれいで色あせとちぢみが少なく、また鼻になる小さい枝が比較的幹に対して鈍角に付いているためである。

使用する道具は、カッターナイフ、カッター鋸、きり、ペンチ、などである（写-3）。



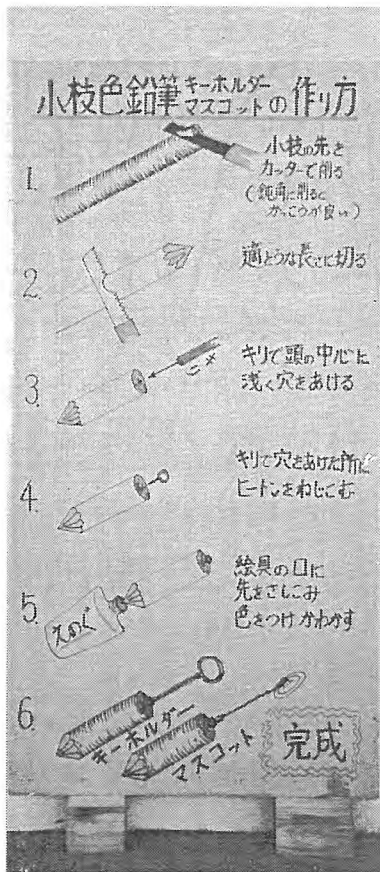
写-2 「小枝くん」の制作方法



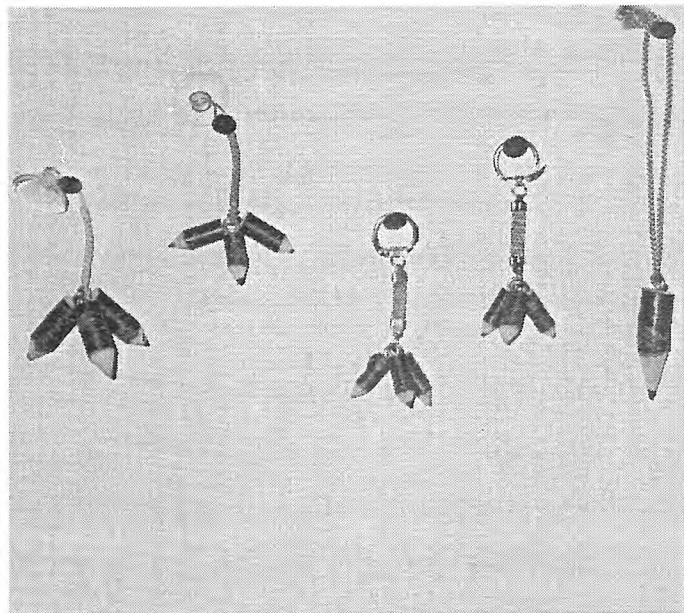
写-3 「小枝くん」の材料と道具

(2) 色鉛筆

色鉛筆は、径1cm位、長さ20cm前後の桜の小枝をカッターナイフで削り、削った先に絵の具を付け、鉛筆に似せてキーホルダーの飾りなどにするものである（写-4）。これにも、吸盤やひもを付けると用途が広がる（写-5）。



写-4 「色鉛筆」の作り方



写-5 「色鉛筆」の完成品

材料は、桜の小枝、
絵の具、キーホルダー
にする場合は鎖と
止め金（ヒートン）
などである。

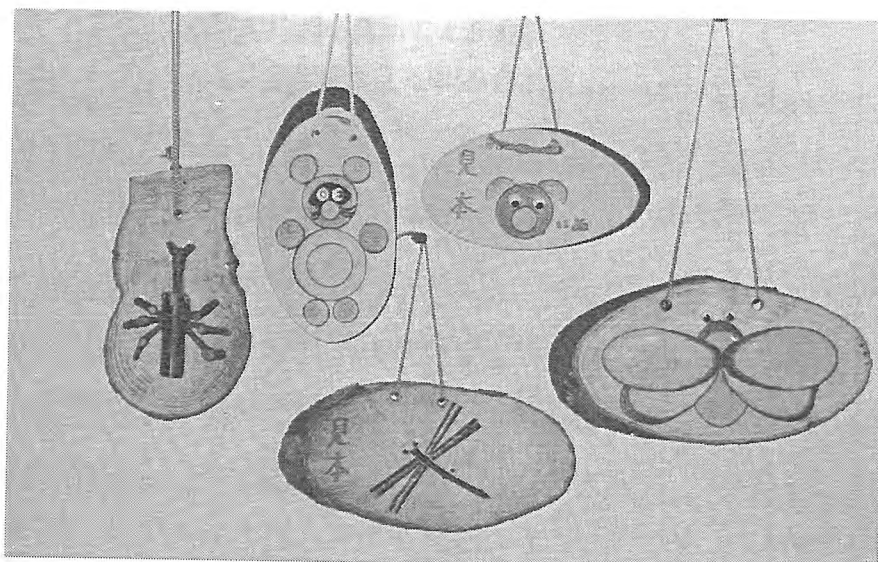
使用する道具は、
「小枝くん」を制作
のものと同様である
(写-6)。



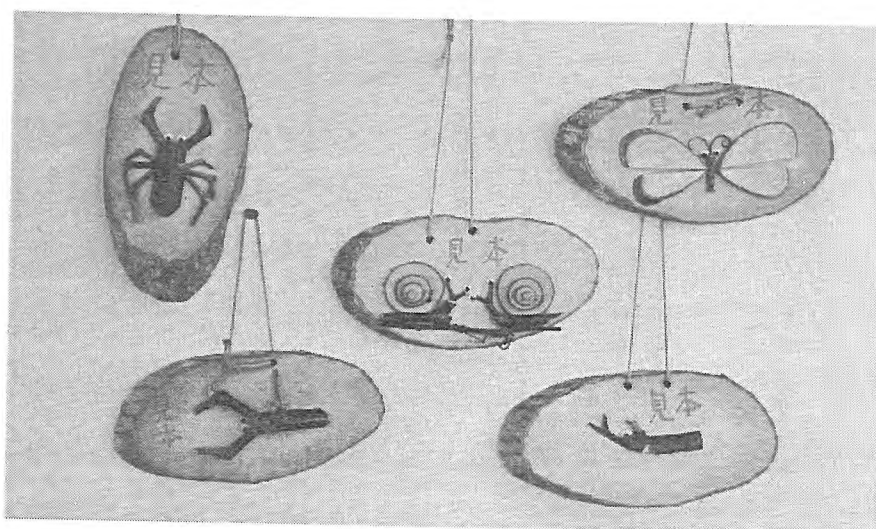
写-6 「色鉛筆」の材料と道具

(3) 「小枝くん 2号壁掛け」

「小枝くん 2号壁掛け」は、径20cm位のケヤキやハクウンボクなどの輪切り板に
それより小さい輪切り板、木片、動眼等をボンドで付けて動物や昆虫を制作するもの
である(写-7, 8)。



写-7 いろいろな「小枝くん2号壁掛け」

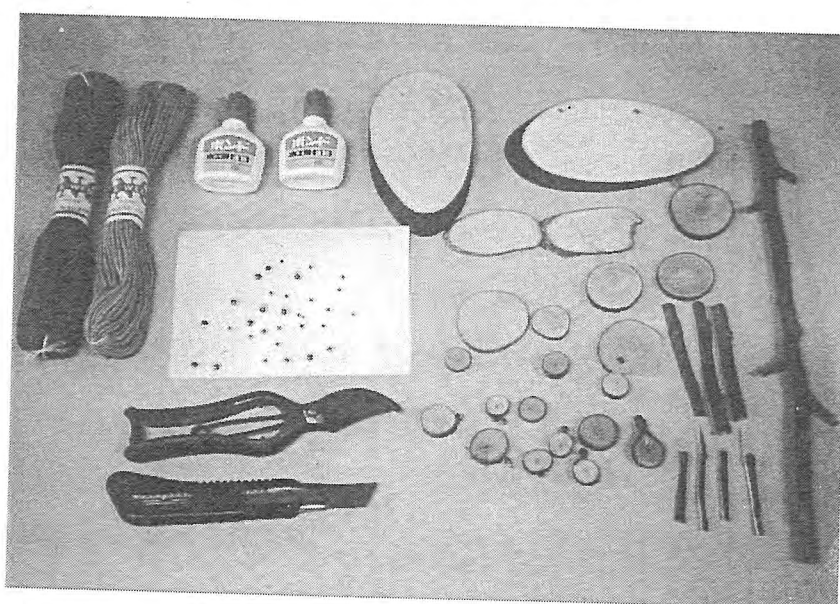


写-8 昆虫を制作した「小枝くん2号壁掛け」

材料は、このように
に大小の輪切りした
板、木片、動眼、ポ
ンドなどである。

動眼を使うのは、
作品にユニークで愛
らしさがでるため
である（写-9）。

使用する道具は、
カッターナイフ、剪
定バサミなどである
（写-9）。



写-9 「小枝くん2号壁」の材料と道具

3 ネーチャークラフト「小枝くん」

(1) 対象者

「小枝くん」と「色鉛筆」は、小学生から高校生までの生徒が対象であるが、特に女子生徒には人気が高い。「小枝くん2号壁掛け」は、制作が簡単なことから幼児から対象にできるとともに、アイデア次第で作品に広がりがあるので大人まで楽しむことができる。このため、親子も対象としたイベントに組み入れることができる。

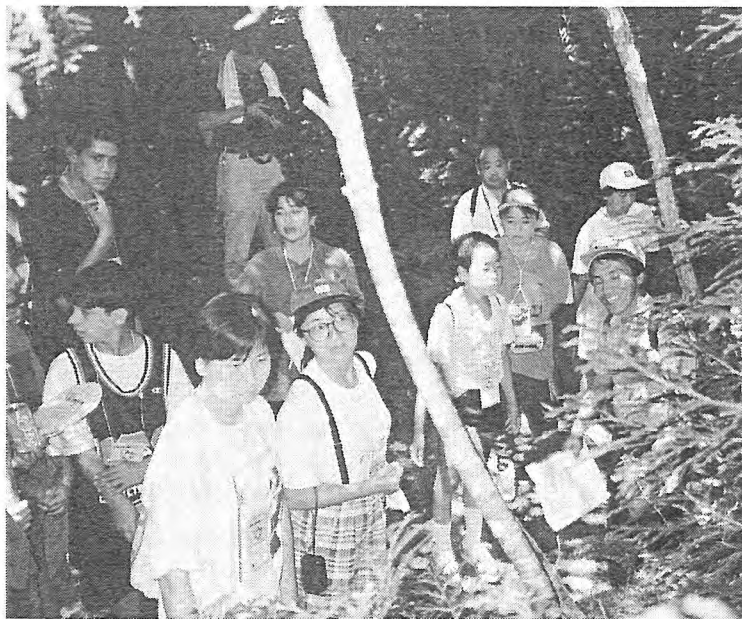


写-10
平成6年9月10日
「森林まるごと体験」
でのひとこま

(2) 実施方法と時間

ネーチャークラフトの実施方法は、森林浴に組み入れる場合には、午前は森林浴、午後はこのネーチャークラフトを行い森林浴の一部として実施している。また、悪天候で森林浴が中止となった場合には、森林浴の代わりに屋内で実施している。

クラフトの時間は、「小枝くん」あるいは「色鉛筆」のどちらか



写-11 平成6年8月7日 日本宇宙少年団(YAC)
岩手国際ジャンボリーの午前に行われた森林浴の模様

ひとつ行う場合には、説明の時間を含めて45分前後が必要である。「小枝くん2号壁掛け」と「小枝くん」や「色鉛筆」とを組み合わせる場合には、参加者の集中力の関係から2時間以内が適当である。



写-11 日本宇宙少年団(YAC)岩手国際ジャンボリー
午後に行われたネーチャークラフトの説明の様様

(3) 経 費

桜の小枝などの木片を除いた店から購入する材料費は、それぞれ100円位である

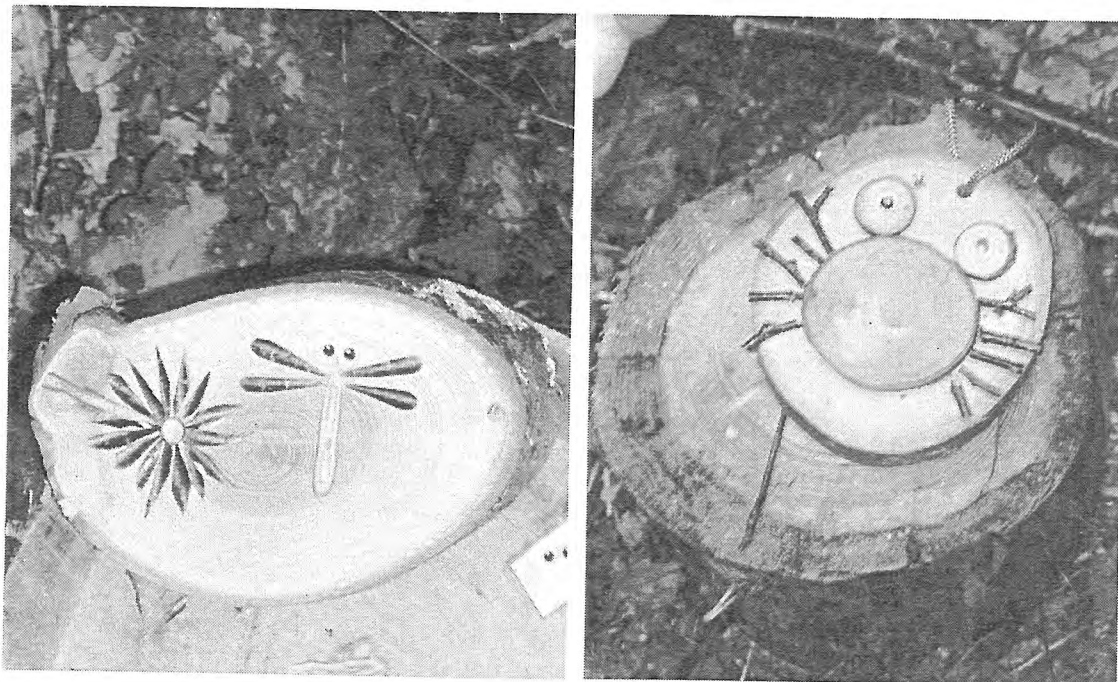


写-12 平成6年11月6日 体験林業での「小枝くん」作りの様様

(4) 留意事項

刃物を使用するのネイチャークラフトであることから、刃物の使い方を十分に説明しなければならない。現在は刃物の使用経験が少ないために、小さいケガが発生するので救急箱の用意、多人数の場合は救護者を配置すると安心である。

また、制作用の台を用意するとともに、安全面やスムーズに進めるために道具類の置き場所にも工夫する必要がある。



写-13 参加者が制作した「小枝くん2号壁掛け」

4 まとめ

このネイチャークラフト「小枝くん」は、小中学生や親子を対象とした森林浴等のイベントでも、人気が高い。参加者がイベントで特に印象に残ったこととして、子供からは「小枝くんと色鉛筆を作ったこと」、大人からは「ネイチャークラフトで、子供以上に夢中になりやってしまいました」との話が聞かれる。今年度は500人を越す人達の参加があり、また関係団体から「小枝くん」を制作したいとの問い合わせがある。

好評の要因としては、緑とふれあいながら親子で楽しみながら作れること、制作は単純であるがアイデア次第で作品に広がりが出ること、イベントに参加した記念品になること等と考えている。

森林の中で楽しみたいとする高まりから、3年前のイベントで初めて「小枝くん」が作られ、開催を繰り返すなかから「小枝くん2号壁掛け」が誕生した。そして、署内と現場の協力体制のもとにネイチャークラフト「小枝くん」は、開催されている。

このように、ネイチャークラフト「小枝くん」は、森林・林業を理解するきっかけとなっていることから、さらに「小枝くん3号、4号」を考えだしたいと思っている。

各署でイベントを開催するうえで、何らかの参考になることを祈念し紹介を終わる。